

事前審査項目

1 事前協議書（円滑な認可のための努力義務：要綱第11条第2項）

番号	区分	審査事項	チェック項目
1	様式	所定の様式か（2号様式）（第9条）	
2	申請意思	本人署名又は記名捺印されているか	

2 申請書（法第33条に基づく認可申請：要綱第11条第1項）

番号	区分	審査事項	チェック項目		
3	様式	所定の様式か（16号様式）			
4	申請先	知事名が記入されているか			
5	申請者	住所、氏名、登録番号等は記載されているか（必要に応じて、登録事項変更届書を提出のこと）			
6	申請意思	本人の自署による署名又は捺印しているか			
7	1 岩石採取場の区域	所在地は使用土地目録のとおりか（2筆以上の場合、代表地番のみ記入し、「外〇筆」と記入）			
8		区域の設定は適切か （全体区域には採取に付随する施設も含める）			
9		各実測面積は求積図のとおりか。			
10	2 採取する岩石の種類及び数量	種類は法第2条に規定されている岩石か。 （通称名がある場合は（）内にその名称を併記する）			
11		採取量は土量計算書のとおりか。（採取量には区域内の埋め戻し、盛り土使用分は含まない）			
13	3 採取の期間	採取期間要領に適合しているか。（特定継続申請者の場合、着手3箇月前までに評価申告書の提出が必要）			
14		終掘年月日を記載しているか。（採取権原、岩石賦存量、需要等から見て申請区域と一体となる区域の予定）			
15		林地開発許可申請を行っている場合、終掘予定年月日は完了予定時期と同一年月か。			
16	4 岩石の採取の方法及び採取のための設備その他施設に関する事項	①採掘方法	ベンチ幅	砕石採取の場合、起岩岩石の拡がり幅＋使用機械の安全作業幅以上あるか。	
17				石材採取の場合、使用機械の安全作業幅以上か。	
18				風化岩石採取の場合、起岩岩石の拡がり幅＋使用機械の安全作業幅以上あるか。	
19			ベンチ高	砕石採取の場合1.5m以下か。	
20				石材採取の場合2.0m以下か。（1回の切断の高さは5m以下）	
21				風化岩石採取の場合5m以下か。（掘削箇所の総延長高は5.0m以下）	
22		勾配	砕石採取の場合7.5度以下か。（岩質に応じて安全を維持しうる傾斜）		
23			石材採取の場合安全を保持しうる傾斜及び適正な高さか。		
24			風化岩石採取の場合4.5度以下か。		
25		②採掘手段	総垂直高が記載されているか。（風化岩石採取の場合5.0m以下であるか。）		
26			堀下がり採掘が有の場合、図面と整合しているか。		
27			埋め戻し、盛土が有の場合、図面と整合しているか。（廃土石による場合、5にも記載必要）		
28	③火薬	採掘機械等の名称、型式が記入されているか。			
29		能力、単位、台数の記載がされているか。（能力：日・時間当たりの作業量、馬力、バケット容量、せん孔径等）			
30		小割使用の有無が記載されているか。			
31	④岩石の破碎、選別	火薬類の使用の有無に○があるか。 火薬類の種類、年間使用予定量は記載されているか。 （火薬担当者に消費申請状況を確認のこと）			
32		機械破碎選別の場合、破碎選別に使用する機械の名称、型式、原動機の出力、処理能力及び台数について適正に記載されているか。			
33		破碎、選別が有の場合、破碎・選別の工程についてフローが添付されているか。（選別機械は原動機付き）			
34	⑤岩石の洗浄	有の場合、機械の名称、型式、取水方法及び使用水量について適正に記載されているか。 （地下水利用：井戸水の枯渇防止、可能な限り循環使用のこと）			
35		有の場合、洗浄の工程についてフローが添付されているか。（洗浄機は製品・原石の洗浄目的で設置された散水設備以上のもの）			
36	⑥運搬機械	①場内・破碎プラントまで	運搬に使用する機械の名称、積載能力及び台数について適正に記載されているか。		
37		②場外搬出	運搬に使用する機械の名称、積載能力及び台数について適正に記載されているか。		
38			併用台数について、①、②の記載は整合しているか。		

番号	区分	審査事項	チェック項目	
39	(1) 岩石の採掘	表土除去の状況・方法について、適正に記載されているか。(現在の表土除去の状況、採掘に先行して採掘箇所の頂端から10m以上除去することとなっているか。必要に応じて保護工を施すこととなっているか。)		
40		範囲は実測平面図及び縦横断面図に表示されているか。		
41		保全区域の幅は表土除去の法肩から5m以上あるか。		
42		保全区域不足の場合、措置が適正に記載されているか。		
43		表土除去時における表土の法面勾配は40度以下であり、必要に応じて保護工を施すこととなっているか。		
44	(2) 発破(飛石、騒音、振動災害の防止措置)	防止措置は十分か。(立入禁止の措置等は必ず講じること。)		
45	(4) 岩石の洗浄等による汚濁水の処理	①集排水路の設置	集排水路の名称、規格、総延長が適切に記載されているか。	
46			計画平面図に表示の集排水路の整備状況は記載されているか。(既設の場合は現況平面図にも名称、規格を明示のこと)	
47			防災施設設計書に表示の集排水路の構造図は記載されているか	
48			流量計算書で表示の集排水路の検討がなされているか。	
49		②沈砂(澱)池の設置	廃水処理施設の貯砂容量、表面積が適切に記載されているか。(貯砂容量は掃流現象による沈殿物の再懸濁を防止するための水深1m程度を除去した容量)	
50			計画平面図に表示の排水処理施設の整備状況は記載されているか。	
51			防災施設設計書に表示の排水処理施設の構造図は記載されているか。	
52			薬品沈降の場合は、使用薬品名・使用量が記載してあるか。	
53		③汚濁水処理施設	装置名称及び処理能力は適正に記載されているか。	
54			計画排出口は記載されているか。	
55	平均排水量は記載で表示されているか。(通常排水がない場合、通常水なしと記載させること)			
56	④排水の排出口別の水量及び水質	現況平面図に既存排出口が記号で表示されているか。		
57		処理方法、場所及び流出防止措置は適切か。		
58	⑤沈殿物の処理方法	自ら処分しない場合は、許可業者が処分することとなっているか		
59				
60		①たい積場所	たい積場所の状況について、該当記号が記載されているか。設置場所の状況が「ケ その他」の場合は、具体的に状況を記載すること。(なお、たい積場所はできるだけ河川の付近は避け、山崩れ、地すべり等のおそれなく、かつ下流側の近くに人家及び公共施設がない場所とすること。)	
61			②たい積の状況	たい積場所ごとの構造、既たい積量及び今回たい積量が記載されているか。
62	③粉じん		粉じん災害防止のための措置の状況は適正に記載されているか。	
63	④場内埋め戻し	埋め戻し場所について、該当記号は記載されているか。		
64		埋め戻しの幅、奥行及び高さは平面図及び断面図と整合しているか		
65		完了後の地盤高は標高で記載されているか。		
66		完了予定年月日は認可期間内であるか		
67	(7) 採取	①採取切羽	砕石用原石採取の場合、高さ20m以下ごとに2m以上の適切な小段を設け、平均傾斜は60度以下であるか。	
68			石材採取の場合、高さ20m以下ごとに2m以上の適切な小段を設け、平均傾斜は70度以下であるか	
69		風化岩石採取の場合、高さ5m以下ごとに2m以上の適切な小段を設け、平均傾斜は35度以下であるか(雨水等による掘削法面の洗掘防止の措置を講じること)		
70		緑化計画は記載されているか(災害の防止、地球環境の保全及び景観の観点から積極的に実施のこと)		
71		②採取場	緑化計画は記載されているか(災害の防止、地球環境の保全及び景観の観点から積極的に実施のこと)	
72			宅地等として利用する場合、必要な手続を行っているか(有無に○がつけられているか)	

番号	区分	審査事項	チェック項目
73	6 岩石の賦存の状況	岩石の賦存の状況は説明されているか。(採取区域及びその周辺の地質を説明すること)	
74	7 添付図書一覧表	適正に記載されているか	
75	8 使用土地目録	採取場の全体区域について、全て適正に記載されているか。(大字、字ごとにまとめ、地番の若い順に整理番号を付すこと)	
76		場所、地目、土地所有者氏名、その他の権利の設定の欄は土地登記簿謄本と整合しているか。	

3 添付書類

番号	区分	審査事項	チェック項目	
77	添付図書	添付図書の一覧表と同一番号、名称で表示されているか。		
78	岩石採取場業務管理者監督計画書	事務所 名称、所在地、電話番号が記載されているか。(17号様式)(現場事務所を置かない場合は連絡先を記載すること)		
79		業務管理者	業務管理者の住所、氏名、資格番号が記載されているか。	
80			業務管理者が2カ所採石場の管理をする場合は、<〇〇採石場と兼務>と記載してあるか	
81			山口県以外の登録の場合、合格証を添付しているか	
82		受講者証	申請者及び当該業務管理者の講習会の受講証の写しは添付されているか	
83		配置状況	氏名と具体的役割が組織図により記載されているか(従業員が多い場合、各部門別に責任者を記載し、その他は人数を記載することも可)	
84		請負等	請負、委託等の関係があるか。一括請負等になっていないか(請負、委託の場合(場外搬出のみ除く)、発注元あるいは発注先の氏名、名称、業務内容等を記載のこと)	
85		監督計画	採取場作業時間、業務管理者の1日の平均現場監督時間及び採取場の休日は記載されているか	
86		留意事項	緊急連絡体制は十分記載されているか。商政課(夜間:080-6302-8026)、土木建築事務所、農林事務所、市町村、消防署、警察署、労働基準監督署、採石協会等及び申請者内部(代表者、業務管理者、各部門責任者)の連絡体制について記載のこと	
87	土地の登記簿謄本	土地目録と整合しているか(土地目録の整理番号順に綴ること)		
88		原本、6ヶ月以内のものか		
89	採石等の権原	契約書等・承諾書等の写しは添付されているか(採石権の設定登記がされている場合、当該契約書等の写しの添付は省略可)		
90		採取場の土地に他の権利(抵当権等)を有する者がいる場合、権利者の承諾書は添付されているか		
91		契約年月日は記載されているか		
92		原本証明はされているか		
93		契約当事者は適正であるか(所有者及びその他の権利所有者)		
94		契約期間は採取期間より長い(自動更新条項がある場合、確認のこと)		
95		地番界図と整合しているか		
96		地番界図において、隣地との境界は明確であるか		
97		搬出に際し、私道を通行する場合は、所有者、管理者の同意書が添付されてあるか		
98		採取場外の土地を廃土石堆積場、製品置場、災害防止施設等に使用する場合は、その土地について登記簿謄本、契約書等の写し、地番界図が添付されているか		
99	他法令の許可届出の受理書等の写し	他法令の許可届出の受理書等があれば写しが添付されているか。		
100	資金計画書	防災措置の工事費用について、採取計画に定められている工事がすべて記載されているか。		
101		工事に必要な資金が、確保の方法が明確か。		
102	採取跡地整備の保証	保証書は添付されているか(1号様式)		
103	土量計算書	測点の取り方は適当か		
104		計算はあっているか(砕石:2.7t/m、真砂、廃土石等:1.7t/m)		
105		流量計算書	表面積	沈砂(澱)池の表面積の能力は適正に計算されているか
106	沈砂能力		沈砂(澱)池の沈砂能力は適正に計算されているか	
107	排水施設	沈砂能力は十分か(沈砂能力4ヶ月以上、安全率1.2以上)		
108		水路の通水能力は適正に計算されているか(原則としてマニング方式による)		
109		通水能力は十分か(安全率1.2以上)		
110	協定書等	自治会との協定書、同意書等がある場合は、その写しを添付しているか		
111		その他の権益はないか(協定書、覚書等を添付のこと)		
112	写真	新規採取の場合、全景写真を添付しているか(申請区域及び撮影年月日を表示すること)		
113		新規採取の場合、状況図又は現況平面図に写真の撮影位置が記入されているか		

番号	区分	審査事項	チェック項目
114	その他	写しには原本証明がされているか（原本証明を付さない場合は、写しに添えて原本を提示すること）	
115		原本証明には日付が明示されているか	
116		所定の書類以外に資料等を添付する必要はないか	

4 添付図面

番号	区分	審査事項	チェック項目
117	位置図	縮尺5万分の1の地形図に位置が明記されているか（原則として国土地理院発行のもの）	
118		方位、縮尺、申請箇所の位置（朱書）及び廃土石堆積場の位置が明示されているか	
119	状況図	縮尺5千分の1又は2500分の1の図面に方位、縮尺、採取場等が明示されているか	
120		現在の切羽の位置が記載されているか	
121		計画している災害防止施設の設定場所が記載されているか	
122		岩石の搬出方法は明らかか	
123		採取場から幹線道路まで及び廃土石堆積場までの搬出経路は記載されているか	
124		幹線道路までの道路管理状況が明確か（私道を通過する場合、所有者明示のこと。通行同意必要）	
125		採取場から公共用水域までの流出経路、管理状況は明らかか	
126		将来、拡張する計画がある場合にはその計画区域が記載されているか	
127	位置図・状況図	正本に各2部が添付されているか（警察署に通知のため）	
128	現況平面図及び計画平面図、実測平面図	縮尺500分の1又は1000分の1の図面に方位、縮尺が明示されているか	
129		測量年月日、測量者名が記載されているか	
130		採取場の境界から10m以上外側の範囲まで記載されているか	
131		現況平面図は採取区域、保全区域及びその他の区域を区分し、それぞれ着色してあるか	
132		現況平面図に表土未除去区域が記載されているか（風化岩石採取の場合を除く）	
133		計画平面図に採取区域が記載されているか	
134		沈砂池、立入禁止柵等の災害防止施設の規模、構造及び設置場所が記載されているか	
135		既設水路等で今後使用する予定の施設の規格等が明示してあるか	
136		縦・横断面図で表示する箇所縦横断線、測定番号が記載されているか	
137		採取場や採取区域の境を示す杭等の設置場所が表示されているか	
138		保全区域（5m以上）が確保されているか	
139	求積図	全体区域、採取区域、保全区域及びその他の区域は平面図等と整合しているか（原則として現況平面図と同一縮尺で座標求積又はプランメーターにより求積する）	
140	実測縦横断面図	測量年月日、測量者名が記載されているか	
141		縮尺は実測平面図と同一か	
142		縦断箇所は適切か（原則として採取区域の中心。複雑な場合、複数箇所とすること）	
143		測点の取り方は適切か（測点距離は原則20M）	
144		縦断面図には横断の測点、横断面図には縦断の測点それぞれ記入されているか。	
145		現況の地形、採取後の地盤面、基準線及び標高が記入されているか	
146		採取部分が朱書きされているか	
147		採取区域、保全区域及び採取場の境界が記入されているか	
148		区域外が10m程度記載されているか（図面の表示範囲は実測平面図と同一の範囲とすること）	
149		平面図と整合しているか	
150		よう壁、その他災害防止のための施設は表示されているか	
151	集排水施設設計書	集水区域は適切か	
152		施設構造図は記載されているか	
153	沈砂池等の施設設計書	沈砂（澱）池の構造図は記載されているか	
154		沈砂（澱）池等への転落防止措置のための防護柵等が図示されているか	
155	緑化計画書	緑化の範囲、密度、植栽の方法、植種及び植生後の維持管理の方法について記載されているか	
156	地番、境界を示す図面	土地の字名、地番及び土地所有者が記載されているか（現況の地番、境界等が異なる場合は隣接地主と境界確認後の地番境界図とし、境界確認書を添付）	
157		既設の境界杭の位置、方位、縮尺は表示されているか（縮尺は実測平面図と同一とするが法務局備え付け地籍図がある場合はその写し）	
158		登記簿謄本と整合性があるか	
159		採取場の区域が表示されているか	
160		保全区域が確保されていない場合、隣接地所有者の状況が確認できるか	

5 その他

番号	区分	審査事項	チェック項目
161	2 添付図書作成上の注意	原則として添付図書の一覧表に記載の整理番号順にまとめ、申請書に綴じること	
162		A4版より大きな書類は、申請書に綴じた封筒に入れること。なお、当該書類が多数ある場合には種類別にまとめそれぞれ封筒に入れること	
163		封筒に入れた書類には、「9 添付図書の一覧表」に基づく整理番号及び添付図書の名称並びに申請者名を記載すること。図面は3枚程度を1枚の封筒に入れ、封筒の表に「9 添付図書の一覧表」に基づく整理番号及び添付図書の名称を表示すること。	